



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp

世界銀行が発行するグリーンボンドへ投資

～開発途上国の低炭素化や気候変動に対する強靭性を高める開発プロジェクトを後押し～

2023年10月27日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、気候変動対応の一環として、世界銀行（国際復興開発銀行、International Bank for Reconstruction and Development 以下、「IBRD」）が2023年10月25日に追加発行した3,000万豪ドルのグリーンボンド（以下、「本債券」）全額に約20億円を投資しましたので、お知らせします。

1. 背景

気温上昇や災害の激甚化など、地球温暖化に伴う影響は世界中で年々深刻化しており、地球規模で脱炭素社会を目指すには、先進国による開発途上国への多額の資金供給が必要とされています。

IBRDは、2008年に初のグリーンボンドを発行して以降、開発途上国の温室効果ガスの排出削減プロジェクトや気候変動に適応力の高いインフラ整備等の開発プロジェクトへの融資資金として、総額180億米ドル相当のグリーンボンドを200銘柄、28の通貨で発行し、気候変動の進行の「緩和」や気候変動の影響に対して人々が「適応」していくことを支援しています。

当社は、「レジリエントで持続可能な社会の実現」に向けて、「健やかな地球環境を未来につなぐ～Planetary Health～」を中期経営計画のサステナビリティ重点取組項目の一つに掲げており、ESG投資融資を積極的に推進しています。

今般、当社は、本債券の資金使途が当社の目指す「レジリエントで持続可能な社会の実現」に繋がると考え、本債券への投資を決定しました。

2. 本債券の概要

発行体	IBRD（【格付】ムーディーズ：Aaa、スタンダード&プアーズ：AAA）
発行日（受渡日）	2023年10月25日
投資金額	約20億円
額面	3,000万豪ドル
利率	1.78%
償還日	2036年9月30日満期

3. 今後の展開

当社は「レジリエントで持続可能な社会の実現」に向け、今後も積極的なESG投資融資を通じて、気候変動への対応等、社会課題解決に取り組んでいきます。

以上

(参考1) IBRD について

現在 189 の加盟国が出資し運営されている 1944 年に設立が合意された国際開発金融機関です。極度の貧困の撲滅と繁栄の共有促進という目標の達成と、持続可能な開発目標 (SDG s) を支援するために、中所得国および信用力のある低所得国に対し、融資・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。また、地域および世界規模の開発課題への取り組みを主導する役割も果たしています。持続可能な開発プロジェクトおよびプログラムへの融資資金を調達するために、70 年以上にわたり国際資本市場で債券 (世銀債) を発行しています。詳しくは世界銀行財務局ウェブサイトをご覧ください。

WEB サイト : <https://treasury.worldbank.org/ja/about/unit/treasury/ibrd>

(参考2) IBRD のグリーンボンドについて

IBRD のグリーンボンドは、加盟国における気候変動問題の緩和や低炭素社会への移行を目指すプロジェクトに対して、資金を提供しています。具体的には、温室効果ガスの削減や低炭素経済への移行を目的とした再生可能エネルギーの導入や、エネルギー効率化、廃棄物処理等のプロジェクトが含まれます。その他、森林や河川流域の管理プロジェクト等を通じて、温暖化により増発する洪水被害を抑え、気候変動への適応力の高いインフラ整備等も支援しています。



<写真提供> ©World Bank

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントで持続可能な社会」を実現するため、SDG s (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DX を通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組みます。

